

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会  
平成28年度第5回理事会議事録

開催日時 : 平成28年10月23日(日)13時00分~18時00分  
開催場所 : 日本臨床検査自動化学会事務所(文京区本郷)  
出席者 : 康 東天理事長、澤部祐司理事、ㄨ谷直人理事、細萱茂実理事、  
松尾収二理事、山舘周恒理事、横田浩充理事、和田隆志理事、  
栢森裕三監事、村上正巳監事  
欠席者 : なし

冒頭、康 東天理事長より、本日全役員が出席されたことに対して謝意が述べられ、理事会審議に入った。

#### 議題1. 理事長職務執行報告

先月開催の第48回大会について、役員の皆様のご協力により多くの参加者を  
得て成功裏に終了したことに大会長としてお礼が述べられた。

#### 議題2. 副理事長職務執行報告

以下について山舘周恒副理事長より報告がなされた。

- (1) 先の臨時社員総会で決議した定款の細微な変更の監督官庁への届け出につ  
いて司法書士に確認したところ、変更の届け出事項に該当しないとの回答  
であった。
- (2) 学会本部として、過日の第48回大会の反省点や次回に向けた課題を整理し  
た表を石川事務員に作成して頂いた。

#### 議題3. 学術委員会より

学術委員会担当の松尾収二理事より以下の報告がなされた。

##### (1) 学術委員会委員長会議議事録の報告

- ① 学術委員会内規を改定し、委員・アドバイザー・オブザーバーについて  
の表記が入った旨の報告を行った。
- ② 技術セミナー開催に伴う経費についてメーカーとのやり取りの情報は学会  
事務局にも伝わるよう配慮すること。
- ③ 企業関係の方は会員以外でも講師料・交通費の支払い対象としない。
- ④ 学術4委員会が必要に応じて内規を作成し、理事会承認を得る。
- ⑤ 評議員推薦の依頼を行った。
- ⑥ 次回大会時の技術セミナーは土曜日午後の開催となる。
- ⑦ 第64回日本臨床検査医学会学術集会/第29回世界病理臨床検査医学  
会連合会議(WASPaLM2017)」での共催シンポジウムの提案を依頼した。

- (2) 学術4委員会から提出された議事録についての報告がなされた。
  - ・POC技術委員会で来年度にガイドラインを出版予定である。
- (3) 血液検査機器技術委員長交代の申し出について
  - ・渡邊眞一郎委員長より、京都府立医科大学病院臨床検査部の稲葉 亨先生に委員長交代の申し出があった。
- (4) 遺伝子・プロテオミクス技術委員会の技術セミナーにおける特別電源設置工事費が発生（2社）した件について。
- (5) 同上委員会より申請の微生物迅速同定検査の精度管理に伴う標準菌株購入について

上記の全てについて全理事の了承が得られた。なお(3)については新年度からの交代として2年間の委嘱状を発行することで了承された。なお、今後の学術4委員会委員長の任期中の交代は、前任者の残期間プラス最大4年とすることとし、細則に盛り込むこととなった。(4)については、学会事務局に連絡が入った本件の情報は学術委員会担当理事、理事長、大会長にも学会事務局から伝える。

上記(4)(5)に関連して、定額の委員会予算交付について議論がなされたが、当面は経費が発生する場合は理事会への上申事項とし、海外の国際学会での報告費用についても同様とする。

#### (6) 新規委員会の設置について

設置計画提案について、康 東天理事長より感染に関する委員会と医療情報に関する委員会の説明がなされ、これに対して以下の意見が出された。

- ・以前、廃止された委員会の再設置も含めて検討するか。
- ・委員会数が増えた場合、現行の技術セミナーの開催も増やすことになるか。
- ・新設予定の感染に関する委員会と遺伝子・プロテオミクス委員会のオーバーラップする領域の扱いをどうするか。
- ・新設に伴って現行の委員会も含めて委員会名称の再検討が必要ではないか。

上記意見を含めて検討を継続していく。

#### 議題4. 編集委員会より

下記事項につて編集委員長である細萱茂実理事より説明があった。

- (1) 抄録集の電子データ提供要望への対応について  
目次については、現在も学会の大会 URL に掲載されている。抄録の内容をすべて公表する件は、当面行わないとの判断が再確認された。
- (2) メーカーからの抄録の拡販利用希望について  
発表者の了承を得ることを条件に拡販パンフレットの作成・配布を認める。なお、本件は抄録内容を論文化して投稿するまでとすることを発表者に約束して両者の合意のもとで行うこととする。
- (3) POCT ガイドラインの転載許可願について

当学会の書式に基づいて申請してもらい、規定の書面にて許可を通知する。委員会が編集を担当した Suppl. 版などの場合は担当委員会の委員長を通して執筆者（明らかな場合）に了解を得てもらう。

#### 議題 5. 今後の大会について

##### (1) 大会日程（パシフィコ横浜より）

下記日程案がパシフィコ横浜から届いている旨、山館周恒総務担当理事より報告があった。

- ・2019年：10月3日（木）～5日（土）
- ・2020年：9月24日（木）～26日（土）

JACLaS 側は了承している。当学会としてもこの日程で了承し、関連学会に情報としてお伝えする。金曜日から日曜日の開催に意見も出されたが、JACLaS の展示会撤収作業もあるため早々の実現は難しい。

##### (2) 第49回大会プログラム

パシフィコ横浜にて9月21日（木）～23日（土）開催。プログラム企画案について細萱茂実大会長より報告がなされ、下記の意見が出された。

- ・臨時社員総会は21日の17時開始とし、その前の時間帯に一般演題等を組む。
- ・モーニングセミナーは若手の参加を想定したテーマを考える。
- ・専門医の認定講習会はポイント数を考慮すると2時間枠で検討する。
- ・意見交換会の規模、会場、アナウンスを検討する。
- ・モーニングセミナーはパンフレットを作り、弁当は300名分用意する。
- ・託児所の開設を検討する。

##### (3) 次回以降の運営会社について

複数会社に見積書を依頼し、大会長と山館総務担当理事に委ねる。

##### (4) 第48回大会の反省点について

次回以降の参考にするため学会事務局でまとめた資料を作成した。

##### (5) 大会終了後の担当校反省会費用について

常識的な額で大会運営費に盛り込み、終了後は理事会へ報告する。

#### 議題 6. 定款・細則について

〆谷直人理事より下記事項の案について説明があり、協議が行われた。

##### (1) 評議員選出に関連する細則について

細則を一部変更することとし、骨子について協議がなされた。

##### (2) 利益相反（COI）および罰則に関する事項

倫理・COI 委員会設置および本件に関する細則を新たに設ける。本件に関連して定款の変更が発生する。協議にて決定した事項に沿って〆谷直人理事にて文面を作成し司法書士の確認を仰いで、次回の理事会で報告することとなった。な

お、当委員会メンバー候補については栢森裕三監事と村上正巳監事に案を出して頂きたい。

#### 議題 7. 学会本部事務関係業務について

##### (1) 会員関連

###### ① 企業会員からの会員交代申し出への対応について

一般会員は所属に関わらず、個人としての入会であることから会員権を別人に引き継ぐことはできないとの判断が再確認された。

###### ② 会費未納者について

会費請求業務が煩雑であることから外部委託あるいは適切なコンピュータソフトを検討したい。

##### (2) 選挙管理委員会について

12 月下旬までに選挙管理委員候補者を選出したい。窓口は山舘周恒理事が担当する。

##### (3) サーバー負担費用について

現在の契約会社から請求書が届いている。11 月が契約月になっていることから当面は契約更新する必要がある。今後、2 年間の契約とするが途中解約が発生したときのドメイン使用権も含めて詳細を再確認することとなった。

#### 議題 8. その他

##### (1) 次回の理事会開催日程

12 月 11 日（日）13 時～16 時とする。

##### (2) その他

なし

以上


平成 28 年 12 月 21 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康東天 

議事録署名人  
(出席監事)

栢森裕三 

議事録署名人  
(出席監事)

村上正巳 